

# 危機管理産業展 (RISCONTOKYO2023)

## テロ対策特殊装備展 (SEECAT2023)

東京ビッグサイトでは、『危機管理』をテーマにした総合トレードショー「危機管理産業展」と「テロ対策特殊装備展」を10月11日～13日の3日間、東京ビッグサイト西1・2ホールにて開催した。

危機管理産業展 (RISCONTOKYO) は、『危機管理』をテーマにした国内最大級の総合トレードショーであり、「防災・減災」、「BCP・事業リスク対策」、「セキュリティ」の主要3分野を柱に、さまざまな課題やリスクに対処するための製品・サービスが一堂に集結して開催された。

危機管理に関する展示会の先駆けとして抜群の知名度を誇り、国・地方自治体関係者をはじめ、重要インフラや商業施設、製造業など、あらゆる業界の経営層や管理・総務部門などの来場者と質の高いビジネスマッチングを実現している。

同展は2005年が初の開催であるが、19年目の本年は、関東大震災発生から100年目にあたるため、それにちなみ、「100年目のいま、あらためて都市型防災について考える」というテーマにて、主催者特別企画展示などが行われた。

出展対象品目は、津波／火山対策、防火／大規模火災対策、救助／救急医療、復旧／復興、災害対策ロボット／ビークル、自治体／機関／団体によるアイデア防災製品／サービス、BCP／BCM策定運用、保険／コンサルティング、法令／訴訟対策サービス、従業

員ヘルスケア対策、物流／輸送リスク対策、危険物の保管／管理、環境リスク対策、害獣／害虫対策、違法薬物対策、監視／警戒システム／カメラ、検知／検査／分析／映像解析、入退室管理／認証システム、警備サービス／特殊装備、デジタル化／DX推進 (AI、クラウドサービス、5G など)、サイバーセキュリティ対策、防災ドローン、点検ドローン、警備ドローン、感染症対策製品 (検温システム、パーテーション、殺菌装置、タッチレス製品、人数管理システム) など。

一方、併設された「テロ対策特殊装備展 (SEECAT)'23」は、国内外よりテロ対策に関わる関係者が集結する国内唯一の「テロ対策」に特化したビジネストレードショーである。

厳密な入場審査を行ない、来場者を限定したクローズドショーとすることで、警察・消防・自衛隊などの治安関係者をはじめ、重要エネルギー施設や交通インフラ、大規模商業施設等の危機管理関係者とのピンポイントで効率的なビジネスマッチングを創出した。

昨今のウクライナ問題や相次ぐ北朝鮮のミサイル発射実験を初めとした不安定な世界情勢に加え、2025年に大阪・関西万博を控える国内でも会場や交通機関のセキュリティはもちろん、重要インフラのサイバー防衛や要人警護など、テロ対策への意識が高まっている。

SEECAT はテロの未然防止・対策に関わる最新機器や情報が一堂に集結する場として多くの関係者からこれまで以上に高い期待が寄せられている。

SEECAT '23」におけるセミナーでは、内閣官房セミナー「国民保護について」／重要インフラのサイバーセキュリティの最新動向／外務省セミナー 国際テロ情勢と日本の取り組み ～広島サミット、官民連携を軸に概観するテロ対策の今後／【鼎談】サイバー、宇宙、気候変動、新領域のセキュリティ・安全保障を考える／出入国管理における水際対策～円滑かつ厳格な入国審査等の実施～／テロ対策最前線【パネルディスカッション】大規模イベントとセキュリティ／公安調査庁セミナー【2部構成】国際テロ情勢／サイバー空間における脅威の概況、などが行われた。



主催者特別展示企画スペースの様子

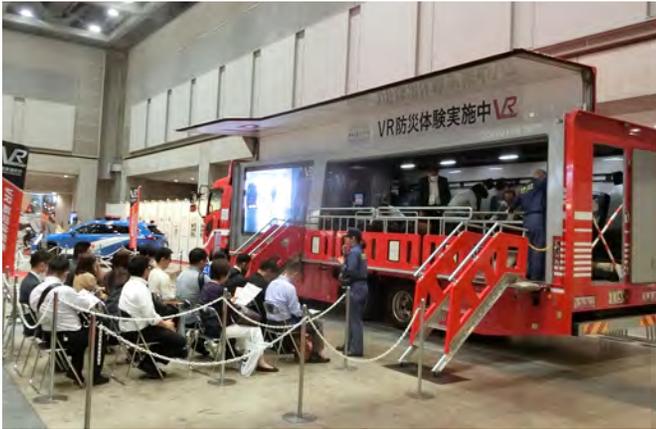
主催：株式会社東京ビッグサイト

特別協力：東京都

後援：内閣府政策統括官(防災担当)、警察庁、復興庁、総務省消防庁、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、気象庁、海上保安庁、デジタル庁、防衛省、法務省矯正局、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国消防長会、アメリカ大使館商務部、独立行政法人情報処理推進機構、独立行政法人日本貿易振興機構

協賛：(一社)日本経済団体連合会、(公社)経済同友会、日本商工会議所、全国商工会連合会、(一社)日本在外企業協会、(一社)公共政策調査会、(一社)全国警備業協会、(一社)日本防犯設備協会、(公助)日本消

防協会、(一社)日本火災報知機工業会、(一財)日本防火・危機管理促進協会、(一社)日本損害保険協会、(一社)日本防衛装備工業会、日本赤十字社、(一社)日本ガス協会、(一社)日本原子力産業協会、(一社)日本内燃力発電設備協会、(一社)日本免震構造協会、(公社)日本空気清浄協会、(一社)日本オフィス家具協会、定期航空協会、(一社)日本ケーブルテレビ連盟、全国商店街振興組合連合会、(特非)日本データセンター協会、(特非)日本防災士会、(一社)電気通信事業者協会、(公社)日本ファシリティマネジメント協会、(一財)エンジニアリング協会、(一社)日本標識工業会、(一財)日本サイバー犯罪対策センター



特殊車輛・装備品特別展示スペース「VR 防災体験車輛」

< 特殊車両展示 >

■防衛省・東京消防庁・法務省矯正局特別機動警備隊による車両・装備品が展示され、普段は見ることのない特殊車両が集結した。東京消防庁...VR 防災体験車、EV 救急車、ポンプ車、応急救護普及車防衛省... 輸送防護車(MRAP)、軽装甲機動車(LAV)、実演体験コーナーによる実演法務省矯正局特別機動警備隊... 特別機動警備隊指揮官車、レスキューキッチン、簡易トイレ、防護衣など

< 東京都パビリオン >

■関係10 機関により首都東京の危機管理を提案: 東京都総務局総合防災部/ 東京都生活文化スポーツ局都民安全推進部/ 東京都産業労働局/ 東京都港湾局(サイバーセキュリティ担当)/ 東京都水道局/ 東京都下水道局/ 東京消防庁/(公財) 東京都中小企業振興公社/ 警視庁/ 自衛隊東京地方協力本部

■公安調査庁: 公安調査庁は日本の行政機関のひとつであり、破壊活動防止法、団体規制法などに基づき、公共の安全の確保を図ることを目的として設置された法務省の外局である。

当初は、国家地方警察本部と法務庁(後に法務府)特別審査局(通称「特審局」)管掌は法務庁では検務長官、法務府では刑政長官)を管轄する「治安省」の設置が検討されていたが、1952年(昭和27年)7月、破壊活動防止法の施行と同時に、法務府(法務庁から改組)特別審査局を発展的解消する形で公安調査庁が設置された。前身の特審局は、「秘密的、軍国主義的、極端な国家主義的、暴力主義的及び反民主主義的な団体」を取り締まる目的で制定された政令「団体等規正令」を所管しており、この政令が後に「破壊活動防止法」の基礎となった。

当初は公安調査庁に、「緊急検束」、「強制捜査」、「雇傭制限」、「政治団体の報告義務」、「解散団体の財産没収」、「煽動文書の保持者の取締り」などの、左翼に対する有効な武器となる強力な権限を付与する予定であった[10]。

出展ブースでは公安調査庁の業務や役割、経済安全保障、国際テロリズム、サイバー攻撃の現状などについてのパネルを展示するとともに、オウム真理教や国際テ



36社が出展した東京都中小企業振興公社のパビリオン

ロ情勢に関する啓発動画や広報動画の放映、各種資料の配布を行った。

また、併催行事として開催されたアドバンスセミナーにおいて、当庁職員が「最近の国際テロ情勢」や「我が国に対するサイバーテロ等の脅威」について講演を行った。

▶<https://www.moj.go.jp/psia/>



■(公財) 東京都中小企業振興公社: 都内の中小企業者等に対して、「安全・安心」をテーマとする製品や技術の開発・改良及び普及促進に係る経費の一部を助成することにより、安全・安心な東京を実現するとともに、東京の産業の活性化を図ることを目的としている組織であり、令和4年度まで実施した先進的防災技術実用化支援事業を強化した。本展では36社が共同出展し、本助成事業の支援を受け実用化に成功した技術・製品を紹介することで、都内中小企業者等の取組みを積極的にPR行うとともに、市場への更なる普及促進を支援していく。

■世田谷工業振興協会: 防災・減災の特別テーマである避難所・備蓄品/ 帰宅困難者対策の製品として、当協会会員の有志5社

が組合員となって設立した有限責任事業組合「ソーラーJPT」が共同で開発したソーラー避難誘導塔『AE-TOWER』(会えたわ〜)を紹介。(写真左)実物は、高さ9.2mの六角形のモニュメントのような形状で、限りなく長期間のフリーメンテナンスを実現できるという。

▶<https://youtu.be/uoJNZggJq4Y>



公安調査庁のブース



EIZO

インフラ設備の監視向け、高感度カメラ・視認性向上・IP製品を組み合わせたEIZOのソリューションを提案。

■超高感度カメラによる災害・夜間監視  
防犯や災害対策に貢献する超高感度ビデオカメラ「SSZ-9700」、「SSC-9700」を展示。株式会社ミカミの旋回台に組込んだ実運用に近いデモと、夜間の導入効果を実感いただける暗室を使用した低照度環境下での撮影デモを行った。

■NEW 狭帯域でのIPカメラ映像伝送の安定化・効率化  
「DX0212-IP」の最新システムソフトウェアに搭載した新機能「ストリーミングゲートウェイ」をIPカメラの安定送信のための改善提案として紹介した。  
IPカメラの映像を低遅延で耐障害性が高いSRT方式で伝送することで安定した映像でモニタリングできるだけでなく、IPカメラ本体の負荷軽減や伝送効率の改善が

可能。伝送効率を比較したデモ映像は、多くの注目となった。

また、既存のネットワーク環境で配信品質の改善が望めることから、「ストリーミングゲートウェイ」は、遠隔監視や移動体での監視において画期的な機能である。

■NEW 映像、静止画鮮明化技術で保全・点検の効率化と問題箇所の早期発見  
橋梁やトンネル、電柱などのインフラの点



検・診断において撮影した大量の動画・静止画を一括で鮮明化処理し、ファイルで保存できる新製品の「画像鮮明化ソフトウェア」をいち早く展示。  
映像管理・カット編集システムと連携したデモやリアルタイム処理が可能なハードウェア版の「EVS1VX」と併せて紹介した。

▶ <https://www.eizo.co.jp/event/pr/industry/riscontokyo2023.html>



エーティーコミュニケーションズ

SEECATに例年出展している会社では、災害や突発的な事件の中継を支える超小型衛星通信装置「SATCUBE(サットキューブ)」をはじめ小型衛星通信アンテナ「SWEDISH CCT120」、Ku/GXサービス両対応の「QCT90アンテナ」トヨタ・ハイエースを用いた衛星通信車両「ハイエースSNGパック」を紹介した。

突発的な事件や災害はいつ、どこで起こるか分からない。放送局や、消防などの行政組織は有事に備えていつでもつながるネットワークを必要としているが、同社ではこうしたケースに備えた、可搬型アンテナや衛星中継車を提供している。

1つは可搬型のアンテナである。大中小3種類のアンテナを揃えているが、その中で、

一番小さい「SATCUBE」はPCほどの大きさで重さ8Kg。充電ができない場所でもポータブル電源1つで3~4時間稼働する。速度はおよそ5~15Mbpsで、「受信時のアンテナ利得は大きい方が安定するが、通信速度はほとんど変わらない」とのこと。

また同社は、スカパーJSATと協業でSATCUBEを用いたIP映像伝送サービス「Sat-Q」も提供している。スカパーJSATが免許人となりSATCUBEをVSAT局として一括登録・管理することで、通常は必要とされる無線従事者資格を不要で利用できる。

SATCUBEと、スマホなどのユーザー端末は有線LANや、Wi-Fiで接続できる。災害現場やイベント会場などでの利用が多いという。

一方、ハイエースSNGパックは必要な機材がTOYOTAハイエースにパッケージ化されたSNG中継車システムで、同社パッケージ(スタンダード)



小型衛星通信アンテナ SWEDISH CCT120, Ku/GX サービス両対応の QCT90 アンテナ

からのカスタマイズも可能となっている。同社が設計しSNGパッケージ化することで大量生産も納期短縮も可能。さらに規格化された設計なので、リーズナブルな中継車を製作することが可能である。

▶ <https://www.bizsat.jp/>



**ハイビジョン伝送・災害・報道・海外派遣**



**SATCUBE**

「驚愕の超小型平面アンテナ！」

スタンダードなGCPGでのSNGモデルに加え2020年7月に新しくスタートしたスカパーJSAT社の新サービス「Sat-Q」モデルもラインナップ。お客様の運用にマッチした利用が簡単にできます。放送などのHD映像伝送・災害通信・海外通信・企業のBCP向けなど幅広く利用可能です。

**<SATCUBEアンテナの特徴>**

- 47cm x 30cm x 5.5cmビジネスバッグに入ります！
- GCPGモデル・Sat-Qモデル、各種あり
- 災害/報道/海外派遣映像伝送インターネット接続/ハイビジョン伝送可能
- わずか1分で通信可能組立不要・工具不要
- 衛星前は内蔵ディスプレイのアシスト機能で早く受信
- 航空機対応可能/バッテリーで運用可(約3時間運用可能)
- 運用中のバッテリー交換可(ホットスワップ対応)
- モバイル中継装置(TVU・Live U・スマテレ等)と連携可



151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14  
TEL:03-5772-9125 <http://www.bizsat.jp>

Communications k.k. エーティーコミュニケーションズ株式会社

## コニカミノルタ

同社では「火災予防対策で設備の維持管理・保全を支援」のコンセプトのもと、初期発煙をAIが煙を検知する煙検知アプリ「FORXAI（フォーサイ）Safety Solution for Smoke Detection」と、エッジサーマルカメラを活用した非接触での異常熱検知・通知する「火災予防ソリューション」「温度モニタリングアプリTMA」を中心に、設備の維持管理や安定生産・保全を支援するための様々な画像IoTソリューションを展示・実演を行った。

MOBOTIX 火災予防ソリューション：エッジサーマルカメラで設備機器などの異常な高温を非接触で検知し、関係者に通知することができるソリューションで、さまざまな通知機能で火災予防の対策に寄与する。

▶<https://businesssolution.konicaminolta.jp/business/products/mobotix/index.html>



また、温度モニタリングアプリTMA (Temperature Monitoring App) は、サーマルカメラの温度測定を更に実務で活用するためにコニカミノルタが開発したアプリケーションで、MOBOTIXのサーマルカメラが提供する温度測定および見える化を更に実務で活用することを目的としている。

TMAは、温度の連続測定データを保存し、モニタリング管理することを主な目的としている。



サーマルカメラは遠隔から面の範囲で物体の表面温度を非接触で測定し、見える化する。TMAでは、測定された温度データの履歴を保存し、時系列で追跡することで、定常状態を把握できるため閾値設定の支援が可能となる。

▶<https://businesssolution.konicaminolta.jp/business/products/mobotix/lineup/software/tma/index.html>



## ほっと。松本

防災敷物企画・開発の『ほっと。松本』(石川県七尾市、代表：松本 隆)は、関東大震災以来一世紀変わっていない“避難所の盲点”に着目。折り紙を応用し、敷きだけでゾーニングまで完了する、災害時用寝袋兼敷物「おまもりぶくる」を危機管理産業展にて発表し、受注生産を開始した。

コロナ禍は避難所の光景を変えたと思われるが、相変わらず整然と並ぶ段ボールベッドやテントが主流であり、それらは前もって備えられたもの。とっさの避難時に繰り返されるのはこれまでと同様に避難者にとって極めて不都合な状態である。特に令和になってからの異常気象が常態化し、国内ではますます「想定外の避難」が増加している。

昨今は、優秀な防災用品が登場しているものの、“避難者が入った後”なんとかしよう／できる…は無理。関東大震災以来、一世紀変わらぬ未だ気づかれぬ“盲点”を解決し、72時間に関連死を防ぎたいという想



敷きだけで避難所を区画に分け、通路を確保できる

いで開発したという製品である。避難所となる施設内に備蓄しておくことで、陣取り合戦になりがちな避難所をいち早く区分けし、女性や高齢者のゾーニングや、通路を確保できる。厚さは4mmあり、ブルーシートに比べて保温性が高いことも確認し、寝袋としても使えるようにしたという。

「おまもりぶくる」<sup>(R)</sup>の7つの特徴。

- ①スピード：体育館一面(約500㎡)120人分敷くの、僅か2.5分
- ②手軽さ：子供から大人まで誰でも簡単、広げるだけ。自治体職員の手を借りなくてもその場にいる人で対応可能。
- ③コンパクト：省スペース：専用台車1台で180人分。ブルーシート(敷布)や毛布(上掛け)と同じく、コンパクトに施設内に保管できる。
- ④ゾーニング：敷き込み完了=通路確保とゾーニングも完了。人数把握と名簿作成が容易になる。
- ⑤災害弱者対策：敷くと同時に、女性専用／高齢者／障害のある方専用のゾーンを



コンパクトな備蓄面積



ブースでは8人分の仕切りスペースが展示された



設けられる。

- ⑥広さ：一区画1.62畳(2.64㎡)。「スフィア基準」の75%を確保。
- ⑦保温性・クッション性：厚さ4mmのクッション入りで下からの冷気を軽減。

▶<https://hot-matsumoto.com>



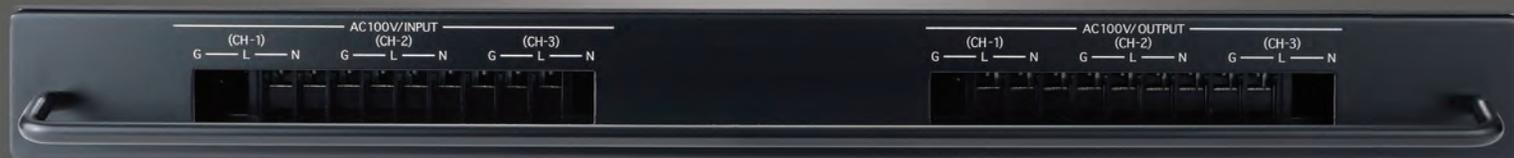
### 【本体】

サイズ	幅64cm×長さ120cm×厚み27cm(納品時) 幅4.4m×長さ7.2cm×厚み5mm(使用時)
重量	本体9kg(納品時)・段ボール込み11kg
素材	表/ポリエステル、裏/同、シルバー加工
カラー	黄緑×ベージュ
加工	撥水加工有り、防炎・防汚・防水無し
受注単位	1個から
価格	18万円(税抜)
注記	訓練、短期使用は繰り返し使用可

さらに使いやすく進化しました!  
**RENEWAL!**

# DengenKun-Jr

## DK-2030-S/DK3030-S



DengenKun-Jrはクリーン電源の供給だけでなく、設置から使用まで高い利便性を提供する電源ブレーカーボックスです。放送局、スタジオ、ライブ会場、コンピュータ機器用など様々な分野で利用されています。本製品は従来品のDK-2030/3030（納入実績3000台）を、皆様の「より使いやすく」というご要望のもとにリニューアル致しました。

**NEW!**



端子台を筐体内に設けたことで、接点にホコリが付きにくい！  
ネジ止め(M4)は、上蓋を外して簡単！

**NEW!**



ケーブルの重みで接続部にテンションがかからないように  
アームを追加！ 安全面もUP!



## 環境にやさしい無はんだ仕様

DK-2030-S 販売価格 73,000円(税抜き)

DK-3030-S 販売価格 79,000円(税抜き)



INFINITESYSTEMS  
creative sound & video production

株式会社インフィニットシステムズ

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-23-4 桑野ビル2F  
TEL: 03-6848-0254 <https://www.infinite-s.com/>

